

令和元年度
社会福祉法人 宮若市社会福祉協議会
事業報告

令和元年度 事業報告

1. 総 括

30年余の歴史に区切りとなる「令和」の時代の幕開けを告げる、まさに輝かしき歴史の始まりとして、平成から令和に時代の変遷を迎える中で、我が宮若市社協も新たな事業計画を打ち立てて新年度をスタートさせた。

そして、6月には前任会長をはじめ全理事の任期満了に伴い、村上文男新会長を迎えた新理事執行体制をスタートさせた。

しかし、年末の中国を始めとした「新型コロナウイルス肺炎」の感染拡大は、年を跨いでアジアから世界各地へ爆発的スピードで猛威を振るうこととなった。福岡県においても、2月20日の福岡市内60代夫婦の感染が報じられて以来、福岡市・北九州市をはじめ県内各地に感染が日増しに拡大し、ついに3月24日には飯塚市在住の夫婦が筑豊地区で最初の感染報告が出されるに至り、しかも夫の勤務先が本市のトヨタ自動車九州と報道されたことから、一挙に「コロナ感染の現実」を突き付けられることとなった。

この事態を受けて、宮若市においても公共施設等における利用禁止を含む使用制限が発出されたことから、当福祉センターについても市からの休館の指示を受けることとなり、国内及び県内の感染拡大に伴って、相次いで休館の延長指示が繰り返される事態となった。

その後、4月7日から1ヶ月間を期間とする「緊急事態宣言」が発出される事態となり、全国的な官民を挙げた自粛生活が余儀なくされる中で、5月のゴールデンウィーク終了後によりやく全国の感染者数が減少を見る状況となり、5月14日には期限を待たずに本県をはじめ39県において宣言が解除されることとなった。

この間、福祉センターの休館におけるお風呂利用者への利用禁止措置や、高齢者サロンの休止によるサロン活動への参加不可という状態が継続し、一方では学校の休業継続に伴い、市からの「学童保育所開所」指示を受けたことから、常勤・非常勤問わず学童指導員及び補助員の確保に追われながらも、現場では指導員の献身的保育業務に支えられながら、何とか市の委託業務を執行することができている状況である。

今後は、本会が執行する全ての業務の中で、コロナ感染予防を基本とした業務形態を追求し実施することで、これからも各事業に従事する職員の安全確保はもとより、何より利用者の安心と安全確保に万全を期して事業遂行にあたっていくものである。

◎ 宮若市の人口構造（令和2年3月末日現在）

・総人口	27,757人		
65才以上人口	9,692人	高齢化率	34.9%
内 75才以上人口	4,983人	65才以上に占める率	51.4%
15才未満	3,336人	少子率	12.0%
・総世帯数	13,330世帯		
高齢者世帯数	5,025世帯		
内 独居高齢者世帯数	3,273世帯		
内 高齢者夫婦世帯数	1,752世帯		
・介護保険認定者数	2,093人	（内 75才以上 1,840人）	

2. 主な会議等への出席状況について

(1) 総会・主な会議への出席

日 時	内 容	出席者
4月8日	直鞍エリア社協連絡協議会理事会	会長
4月16日	みやわか健康隊総会	会長
4月20日	宮若市ボランティア連絡協議会総会	会長
4月24日	福岡県市町村社協会長・事務局長会議	会長
4月24日	宮若手話の会定例総会	会長
4月25日	宮若市民生委員児童委員協議会総会	会長
5月15日	筑豊ブロック市町村社協連絡協議会役員会	会長
5月16日	宮若市老人クラブ連合会総会	局長
5月17日	宮田更生保護女性会総会	局長
5月18日	宮若市手をつなぐ親の会総会	局長
5月18日	宮若市身体障害者福祉協会総会	局長
5月18日	みんなですすむわらびの会総会	局長
5月29日	筑豊ブロック市町村社協連絡協議会総会	会長・局長
5月31日	福岡県地域福祉活動職員連絡会総会	石井
6月1日	宮若市障がい者連絡協議会総会	局長
7月3日	宮若防犯協会役員会・総会	局長
7月4日	筑豊ブロック市町村社協連絡協議会 (2年の事務局を終え、田川市へ引き継ぎ)	局長・遠藤
7月24日	福祉委員研修会	会長
8月7日	宮若市地域公共交通会議	会長
8月19日	宮若市民生委員児童委員協議会推薦会議	会長・塩川理事
8月19日	筑豊ブロック直鞍エリア社会福祉協議会連絡協議会 地域福祉担当者会議	遠藤・石井
8月29日	直鞍地区障がい者等差別解消支援地域協議会	局長
9月6日	福岡県市町村社協会長・局長会議	会長・西中

9月9日	地域福祉セミナー	会長
9月19日	宮若市交通安全対策協議会	会長
10月3日	宮若市高齢者福祉計画策定協議会	局長
10月3日	リコリスこどもまつり実行委員会	石井
10月13日	リコリスこどもまつり	石井
10月21日	暴力追放住民決起大会	局長
10月23日	地域ケア会議	石井・端倉・田之上
10月25日	更生保護女性会筑豊ブロック研修会	会長
10月27日	みやわかふるさと祭り	会長
10月30日	福岡県社会福祉大会	局長
11月18日	高齢者福祉推進協議会	局長
11月24日	宮若市地域ふれあい防災運動会	会長
11月25日	民生委員推薦協議会	会長
11月26日	歳末安全安心住民大会	局長・平尾
11月27日	地域ケア会議	石井・端倉・田之上
11月30日	福岡県ねんりんピック開会式へ出席	会長・職員
12月23日	日常生活支援担当者会議	石井
12月23日	宮若市地域公共交通会議	会長
12月25日	地域ケア会議	石井・端倉・田之上
1月10日	宮若市賀詞交換会	会長
1月12日	宮若市成人式	会長
1月21日	日常生活支援専門員地区別会議	石井
1月24日	日常生活支援担当者会議	石井
1月24日	直鞍エリア JC 災害協定会議	局長
1月29日	地域ケア会議	石井・端倉・田之上
2月18日	居住支援協議会設立準備会	局長
3月6日	日常生活自立支援事業契約締結審査会	遠藤

3. 法人運営事業の状況

(1) 理事会・評議員会の開催

日 時	内 容
6月10日	第69回 理事会 ・平成30年度 事業報告の承認 ・平成30年度 決算の承認 ・令和元年度 定時評議員会の開催について
6月24日	第46回 評議員会 ・平成30年度 事業報告の承認 ・平成30年度 決算の承認 ・理事の選任について ・監事の選任について
6月26日	第70回 理事会 ・会長の選定について ・副会長の選定について ・評議員選任・解任委員会委員の解任及び選任について
7月29日	第71回 理事会 ・会長職務の執行状況の報告について
11月11日	第72回 理事会 ・評議員選任候補者の推薦について ・処務規程の一部改正について ・会長職務の執行状況の報告について
2月14日	第73回 理事会 ・会長職務の執行状況の報告について
3月19日	第74回 理事会 ・令和元年度 資金収支補正予算（第1次）（案）の同意について ・令和2年度 事業計画（案）について ・令和2年度 資金収支予算（案）について ・令和元年度 定時評議員会の開催について ・職員就業規則の一部改正について
3月26日	第47回 評議員会（書面開催） ・令和元年度 資金収支補正予算（第1次）（案）について ・令和2年度 事業計画（案）について ・令和2年度 資金収支予算（案）について

(2) 監査

日 時	内 容
5月30日	平成30年度 決算監査
7月26日	令和元年度 第1期監査
11月1日	令和元年度 第2期監査
2月7日	令和元年度 第3期監査

(3) 職員採用試験

日 時	内 容
11月1日	令和元年度 職員採用試験 受付開始 ・経理事務経験者 1名募集 (30歳～49歳 経理事務経験者) ・一般事務職員 1名募集 (18歳～29歳 資格等制限なし)
11月22日	令和元年度 職員採用試験 受付締切 ・経理事務申込者 6名応募 ・一般事務申込者 16名応募
12月8日	令和元年度 職員採用試験 ・経理事務6名受験 (作文試験) ・一般事務15名受験 (1名欠席) (作文試験/一般教養試験)
1月10日	第1回 採用選考委員会 ・経理事務3名、一般事務5名を1次試験合格
1月19日	第2次試験 面接試験 ・経理事務3名受験 ・一般事務4名受験 (1名辞退)
1月24日	第2回 採用選考委員会 ・経理事務1名 ・一般事務1名
1月27日	採用予定者2名来所 (意思確認)

(4) その他

日 時	内 容
6月6日	学識理事選考委員会
11月18日	評議員選任・解任委員会 (4名の評議員を選任)

4. 寄付金事業

(1) 香典返し

1, 365, 000 円

(2) 一般寄附

100, 000 円

5. 地域福祉の推進

(1) 地域福祉座談会の開催

- ・ 宮若市のまちづくり出前講座に登録を行い、地域福祉活動及び社協の事業内容等についての説明を実施した。5月25日には百合野団地自治会にて地域福祉について座談会を実施し、1月15日には若生学級研修会にて社協の事業内容等についての説明をした。

(2) 福祉委員の委嘱

- ・ 地域福祉の根幹となる見守り活動の強化が求められる宮若市において、自治会長より推薦された方へ社会福祉協議会会長より福祉委員を委嘱し、見守り体制の強化を図った。

62自治会 358名に委嘱

(3) 福祉会の設置推進

- ・ 安心して住み続けることの出来る地域を目指し、要援護者台帳・ふれあい台帳・福祉マップ等の作成を自治会へ依頼し、地域福祉推進の為に福祉会の設置推進を依頼した。

20自治会にて福祉会を設置

(4) いきいきサロン活動の推進

- ・ 対象者や年齢の区切りが無く、誰もが気軽に集える居場所づくりとして、自治会主体による「いきいきサロン活動」を推進し、実施回数と参加人数により助成金を交付した。

25自治会へ助成

(5) 地域福祉研修会の開催

- ・ 7月24日にマリーホール宮田にて福祉委員・福祉会研修会を開催した。講師に全国支え合いマップネットワーク福岡ブロックリーダーの池本賢一さんをお招きし「支え合いマップの重要性」についてご講演頂いた。また、長井鶴地区で取り組まれている「ふくしまップ」について2名の民生委員にも発表を頂いた。

144名参加

(6) 地域歳末・年始事業

- ・ 自治会にて年末・年始に実施されている助け合い事業や絆づくりを目的とした事業を対象に、歳末たすけあい募金の80%を上限として助成した。

38自治会へ助成

(7) 視察研修の受け入れ

- ・ 2月10日に上大隈光明学院大学と共に、久留米市合川校区社会福祉協議会の視察研修を受け入れた。

6. ボランティア活動の推進

(1) ボランティアセンターの運営（ボランティアコーディネートの実績）

- ・ ボランティア活動の総合的な相談に応じ、ボランティア活動を行いたい方には登録をしていただき、ボランティアを受け入れたい方と需要と供給の調整を図り、17件のマッチングを行った。令和元年度は722名のボランティアが登録されたがボランティア活動を行いたい方の受け入れ先が確保できず、気持ちに答えることが出来ない部分があった。

(2) ボランティア講座の開催

- ・ 令和2年3月27日～28日に、小学校4年生と6年生を対象とした「防災キャンプ」を実施予定であったが、新型コロナウイルスの影響により学校等が休校となったため中止とした。

(3) ボランティア連絡協議会の支援

日時	内容
4月10日	事務局会議 総会、くらて地区ボラ連について
4月20日	平成31年度 総会
5月10日	事務局会議 役員研修について、理事会
5月22日	防災運動会 実行委員会
6月14日	事務局会議 役員研修、ボランティア交流会について
7月3日	筑前町ボランティア連絡協議会へ視察研修

7月24日	ボランティア交流会
7月24日	防災運動会 実行委員会
8月20日	事務局会議
9月10日	事務局会議、理事会
9月25日	防災運動会リハーサル
10月30日	事務局会議
11月8日	理事会
11月24日	防災運動会
12月10日	事務局会、防災運動会反省会
1月22日	事務局会、理事会
2月12日	事務局会
3月24日	事務局会

(4) 地域ふれあい防災運動会の支援

- ・ ボランティア団体と障がい者団体にて実施していた防災運動会を、令和元年度より地域を巻き込み実行委員会を組織し社協も実行委員として支援した。11月24日にトヨタ自動車九州体育館にて、笠松ブロックの自治会及び宮若市役所職員も参加し実施した。

日時	内 容
5月22日	第1回 実行委員会
7月24日	第2回 実行委員会
9月25日	リハーサル
11月22日	第3回 実行委員会
11月24日	地域ふれあい防災運動会 参加者 175名
12月10日	第4回 実行委員会

(5) ボランティア活動保険への加入推進

- ・ 安心してボランティア活動を行って頂くために、ボランティア活動保険への加入推進を図り 1,076名が加入された。

7. 相談機能の充実

(1) 弁護士無料法律相談の実施

- 毎月第2火曜日の午後1時より4時までの間、事前予約により一人30分程度、弁護士による無料法律相談を実施した。

日 時	件 数	日 時	件 数
4月9日	2件	10月8日	1件
5月14日	3件	11月12日	2件
6月11日	1件	12月10日	0件
7月9日	3件	1月14日	2件
8月6日	1件	2月4日	4件
9月10日	2件	3月10日	コロナにより中止

(2) フードバンクの運営

- 生活相談等で来所された方が、今日・明日の食べ物の確保が出来ない方に対し、市内の方やNPO法人 フードバンク福岡（毎月第4金曜日に古賀市へ受取に行く）による様々な食品の提供を受けるとともに、宮若市ふるさと祭りにて「うまい米コンクール」へ出品された米の寄贈を受けフードバンクを実施した。また、9月17日にセブンイレブンより77箱の食料品や生活雑貨品等々の寄贈を受け、生活困窮者や福祉施設等へ配布した。

21件に食材等の提供

(3) 緊急援護資金の貸与

- 生活相談等で来所され、生活福祉資金等の借入れを申し込むにも、必要書類を取得する費用が無い方や、貸し付けまでの間にライフラインが止まってしまう方に対し、1万円を限度として必要最小額の支援を行った。

14件に貸付

8. 高齢者の支援

(1) 寝具洗濯サービスの実施

- 65歳以上の介護保険を受けている方等を対象に、民生委員及び在宅介護支援センターの協力を得て、寝具の洗濯サービスを実施した。

165名 288枚の洗濯

(2) ふれあい交流会の開催

- 75歳以上の閉じこもりがちな高齢者を対象に、民生委員の協力を得て社会参加の機会として、11月7日に宮田文化センターにて健康体操や和太鼓コンサートを実施した。

対象者 387名、民生委員 54名の計 441名の参加

(3) ふれあい電話の実施

- ボランティアにより毎週水・金曜日の週2回、一人暮らし及び昼間独居の75歳以上の高齢者の自宅に電話による声掛けを行った。また、誕生日にはバースデーカードを送付し、ボランティアの顔写真入りの年賀状も送り交流を深めた。

対象者 17名

9. 障がいを抱える方への支援

(1) 障がい者サロンの開催

- 毎月第2木曜日 午前10時より午後3時までの間、社会福祉センター2階にて障がい者サロンを実施した。利用者の中には送迎が必要な方もおられるため、ボランティアの協力を得て送迎を実施した。6月16日にはソフトバンクホークス野球観戦、10月10日には福岡タワー見学等の外出する機会も増やして実施した。

計 74名の参加

(2) 手話サロンの開催

- 宮若手話の会の協力により、毎月第2火曜日の午前中に社会福祉センター2階にて、聴覚障害を持たれる方の障がいを理解し、交流と社会参加を進めるため気軽に簡単な会話程度の手話を学ぶことを目的として手話サロンを開催した。また、6月16日にはソフトバンクホークス野球観戦も実施した。

計 75名の参加

(3) 障がい者団体の支援

- 宮若市社会福祉センターの売店業務を、宮若市障がい者団体連絡協議会へ委託し、雇用創出の場や社会参加の機会増進を図った。

日時	内容
4月24日	宮若市障がい者団体連絡協議会 会議
4月24日	宮若市手をつなぐ親の会 会議
6月1日	宮若市障がい者団体連絡協議会 総会
6月26日	宮若市手をつなぐ親の会 会議
8月20日	宮若市障がい者団体連絡協議会 会議
8月21日	宮若市手をつなぐ親の会 会議

9月11日	宮若市障がい者団体連絡協議会 会議
9月25日	宮若市手をつなぐ親の会 会議
10月21日	宮若市手をつなぐ親の会 会議
11月10日	宮若市手をつなぐ親の会バスハイクを支援
11月12日	宮若市障がい者団体連絡協議会 会議
12月13日	宮若市障がい者団体連絡協議会のチャリティーバザーを実施
12月18日	NPO 法人 こだまの会研修会へ講師派遣
1月14日	宮若市障がい者団体連絡協議会 会議
2月26日	宮若市手をつなぐ親の会 会議
3月3日	宮若市障がい者団体連絡協議会 会議

10. 子育ての支援

(1) 子育て交流会の開催

- 8月7日、20日に子育て交流会「enjoy summer 親子でえいご」を若宮コミュニティーセンターハートフルにて開催した。

計 59 名の参加

- 11月15日、22日、29日に子育て交流会「フェルトケーキを作ろう」を開催した。また、フェルトケーキを作成するためのキットをトヨタ自動車九州(株)のボランティアの方に作成して頂いた。

計 6 名の参加

(2) 子育て用品リユース事業

- 子育て用品のリサイクルを進めるために、不要となった子育て用品を持ち込んでもらい、必要な方が無料で持ち帰ることの出来る「子育てリユースセンター」を宮若市社会福祉センター2階の一室で実施した。また、利用者から持ち込まれる衣類や子育て用品については、子育て支援サークル「きらりん」に協力を頂き整理整頓を行って頂いた。

持ち込み者数 281 件、持ち帰り者数 429 件

(3) 子育て団体の支援

- 子育て世帯のニーズに沿った事業を実施するために、子育て世帯で構成されている子育て支援サークル「きらりん」と事業について協議した。

11. 福祉教育の推進

(1) 社会福祉協力校の指定

- ・ 小学校、中学校及び高等学校の児童・生徒を対象として、社会福祉への理解と関心を高め、思いやりの心でお互いに助け合い、人権を尊重し合う心を育成する為の事業に対し、助成金を交付し福祉教育を支援した。

(2) 福祉教育の支援

- ・ 宮田小学校からの依頼により、10月7日・17日の2日間、車いす体験授業を実施した。
- ・ 宮田北小学校からの依頼により、12月6日に車いす体験授業を実施した。

(3) ともに生きるの配布

- ・ 福岡県社会福祉協議会からの配布依頼により、小学校3年・4年・5年・6年生を対象とした福祉教育教材「ともに生きる」を市内全小学校へ1,035冊配布した。

(4) 福祉教材寄贈

- ・ 小学校新入学1年生の児童を対象に、防犯ブザーを230個寄贈した。

(5) ボランティアスクール

- ・ 8月6日～8日の3日間、小学校5年～6年生を対象にボランティアスクールを開催した。今回のテーマは「できることを見つけよう」と題し、高齢者疑似体験や認知症サポーター養成講座の受講、市内福祉施設「若宮園」での福祉体験等を実施した。

参加者 20名

12. 貸出事業

(1) チャイルドシートの貸出

- ・ 乳幼児の安全と子育て世帯の負担軽減を図るため、チャイルドシート及びジュニアシートを貸出した。父母については6カ月間1,000円の利用負担をいただき、1年を限度として更新可能とした。また、祖父母等については、3カ月間1,000円の負担を頂いている。

115件貸出

(2) 福祉車両の貸出

- ・ リフトカーなど本会で所有している福祉車両を、燃料費のみ負担をいただき貸出を実施した。

64件貸出

(3) 車いすの貸出

- ・ 一時的に車いすが必要な方へ貸出を行った。また、介護保険認定者など他の制度が利用できる方へはアドバイスをを行った。

50 件貸出

(4) レクリエーション遊具の貸出

- ・ 地域で開催されているいきいきサロンや、幼稚園・保育園等にレクリエーション遊具の貸出を行った。

13. 広報啓発活動

(1) 広報誌の発行

- ・ 7月末にて広報担当者が退職したため不定期発行となってしまったが、市民の声や福祉情報、行事等のお知らせなどを福祉の情報紙として「ほっと」を5月・7月・11月・3月の4回発行した。

(2) ホームページ・フェイスブックの更新

- ・ 行事のお知らせや事業報告などを適時掲載し、情報提供と啓発媒体としてこまめな更新を行った。

14. 指定管理者制度による福祉センターの運営

(1) 宮若市社会福祉センターの運営

- ・ 宮若市から指定管理を受け、センターの目的に沿った運営・管理に努めた。3月については、コロナウイルスの影響により宮若市からの指示で休館することとなった。

入館者数	56,371名
イベント	7月 七夕飾り・琵琶演奏 9月 手話ダンス 10月 和太鼓と三味線の演奏会 11月 プルメリアサークルによるフラダンス 12月 ゆず湯 1月 三波小春歌謡ショー
工事等	4月 事務室内改修工事 12月 社会福祉センター裏駐車場排水路土間設置工事 3月 大小浴槽排水共栓取替工事 3月 倉庫サッシ取替工事 3月 濾過ポンプ取替工事

(2) ふくしバスの運行

- ・ 毎週月・水・金曜日に市内を巡回するふくしバスの運行を行った。

(3) 避難訓練の実施

- ・ 12月17日に火災等を想定した避難訓練を実施した。

15. 受託事業等

(1) 放課後児童健全育成事業の受託（宮若市より）

- ・ 市内5カ所8クラスにて全学年を対象とした放課後児童健全育成事業を実施した。宮田南学童保育所の入所児童の増加により1クラス増設し、年度途中より9クラスにて運営した。7月にはトヨタ自動車九州の体育館にてドッジボール大会を開催。夏休みにはふくしバスを使用してのバスハイク等も実施した。また、3月には小学校が休校となった事により、朝から学童保育所を開所し児童の受け入れを行った。しかし、求人広告等を活用し非常勤指導員の募集を行っているが、指導員が集まらない状況となっており、厳しい状況での運営となっている。

年間 3,321人

(2) 高齢者居場所づくり事業の受託（宮若市より）

- ・ 65歳以上の介護認定を受けていない方を対象とした高齢者居場所づくり事業を実施した。4月からは東部地区（本城、龍徳、白百合団地、百合野団地）を対象として新たに1カ所開催が増えた。また、利用者から外出の機会を増やして欲しいとの要望も組み入れ、花見・観劇・買い物・秋のバスハイク・忘年会等々も実施し利用者に好評であった。3月については、宮若市からの指示によりコロナウイルス感染拡大防止の為、全てのサロンを中止としたが、電話により利用者の体調確認等に努めた。

114回実施 3,502名の利用

(3) 食の自立支援事業の受託（宮若市より）

- ・ 65歳以上で一人暮らしの人、高齢者夫婦のみの世帯、身体障がい者の方に、週5日（月曜日から金曜日）配食サービス（夕食の弁当配達）を実施し、栄養バランスのとれた食事を提供するとともに利用者の安否確認を行った。

2,019件 36,654食

(4) 宮若市戦没者遺族会事務局の受託（宮若市より）

- ・ 宮若市戦没者遺族会の事務局を受託し活動を支援した。10月29日には福岡県護国神社参拝、11月22日福岡県戦没者遺族大会等にも参加し支援を行った。

(5) 日常生活自立支援事業の受託（福岡県社会福祉協議会より）

- ・ 認知症、知的障害、精神障害などで判断能力が不十分な為に、福祉サービスの利用や日常的な金銭管理などに不安がある方々が住み慣れた地域で安心して暮らせるように支援した。

147 回の支援

(6) 生活福祉資金貸付事業の受託（福岡県社会福祉協議会より）

- ・ 福岡県社協から事務委託を受けている生活福祉資金貸付事業について、利用者の意向を聞き的確な受付と申請手続きを支援し、関係機関と連携しながら自立に向けての相談・援助を実施した。

34 件の貸付を実施

- ・ 新型コロナウイルス感染症の影響により休業や失業等で生活資金に困ってある方を対象に緊急小口資金等の特例貸付を 3 月 23 日より実施した。以前までは、低所得世帯を対象としていたが、今回の特例により低所得世帯以外も貸し付けの対象となっている。

● 緊急小口資金

（貸付上限額）	20 万円以内	（措置期間）	1 年以内
（償還期限）	2 年以内	（貸付利子）	無利子

● 総合支援資金

（貸付上限額）	二人以上＝月 20 万円以内	単身＝月 15 万円以内	
（貸付期間）	3 カ月以内	（措置期間）	1 年以内
（償還期限）	10 年以内	（貸付利子）	無利子

(7) 共同募金会宮若市支会事務局の受託（福岡県共同募金会より）

- ・ 福岡県共同募金会宮若市支会の事務局を受託し、10 月 1 日から 12 月 31 日までの間、赤い羽根共同募金・歳末たすけあい募金の強調月間とし、戸別募金・法人募金・学校募金・募金箱・イベント募金等々の方法で募金活動を実施した。法人募金では、共同募金会の理事の方々にご協力いただき市内事業所等を訪問し共同募金への協力を依頼した。

● 共同募金額 5,671,981 円（達成率 100%）

● 歳末たすけあい募金 864,000 円（達成率 93.9%）

(8) 宮若市老人クラブ連合会の事務局支援（宮若市老人クラブ連合会より）

- ・ 宮若市老人クラブ連合会からの依頼により、事務局の支援を行う。

15. その他

(1) 役職員の資質向上（職員の研修会参加を含む）

日 時	内 容	参 加 者
5月8日	社会福祉施設新任職員研修	石井
5月21日	社会福祉施設新任職員研修	石井
6月25日	福岡県日常生活自立支援事業専門員研修会	石井
7月3日	筑前町ボランティア連絡協議会視察研修	遠藤・平尾
8月1日	安全運転管理者講習	西中
8月28日	福祉教育セミナー	瀬尾・石井
8月29日	日常生活自立支援事業 業務支援システム 「らいと」操作説明会	瀬尾・石井
9月9日	福岡県共同募金会担当職員研修会	瀬尾
9月3日	令和元年度 地域担当職員研修会	石井
9月5日	鞍手町社協主催第1回社協職員勉強会	石井
9月6日	武雄市災害ボランティアセンター視察 筑前町社協ボランティアセンター研修	遠藤・石井・平尾
10月10日	会計セミナー	西中
10月10日	鞍手町社協職員研修会	石井
10月11日	会計セミナー	西中
11月14日	鞍手町社協職員研修会	石井
12月5日	直鞍エリア地域担当者会議	石井
12月5日	鞍手町社協職員研修会	石井
12月14日	シナプソロジー研修	田之上
12月15日	シナプソロジー研修	田之上
1月16日	鞍手町社協職員研修会	石井
1月23日	直鞍エリア社協職員研修会	職員7名
2月12日	筑豊ブロック市町村社協職員連絡協議会 職員研修会	遠藤・西中・石井・端倉
2月13日	鞍手町社協職員研修会	石井